

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2021年
4月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 上原 信幸

印刷所
文明堂印刷所

いのち

司祭 ダビデ 林 和 広



生きづらい世界

ある方から日本の教会の看板・掲示板で最も多く用いられている聖句は「すべて重荷を負って苦労している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。私は柔和で心のへりくだった者だから、私の軛を負い、私に学びなさい。そうすれば、あなたもがたの魂に安らぎが得ら

れる。私の荷は軽いからである」(マタイ十一・二八―三十)と聞いたことがあります。その方が通われている教会の牧師先生が話されていたそうです。長い聖句ですが、「疲労大国」と表されることもあり、ありますように心の安らぎ、苦しみ、悩みに寄り添ってられる存在を求めている人は少なくないと思います。その背景には国土の狭さからくる人間同士の距離感が考えられるそうです。それに加え、政争、派閥争い、上司・部下との軋轢、特定の共同体内での不和といった人間関係なども

あるように思います。さらに現代の超競争社会、成果主義においては、その結果だけで「出来る人、出来ない人」と区別される現実があります。他者の期待に応えなければ「期待外れ」と評価される現実があります。聖書によれば人間とは「神は人を自分のかたちに創造され」(創一・二十七)、「その鼻に命の息を吹き込まれた」(創二・七)神の傑作です。しかし、その人間同士が互いの「ものさし」で優劣をつけ、あの人は出来る、出来ないとか、自分は出来るのに、あの人は出来ない、評価し合うような現実の中にある教会はこれらのことと無関係ではありません。イエスの弟子たちも自分たちの一方的な期待を

イエスにかけたり、自分たちの中で誰が一番偉いかを互いに論じ合ったり、他の弟子に腹を立てたり、他の弟子の動向を気にしたように、心の根っここのところにそのようなものがあることがわかりました。それは私自身の心の中にもあります。

ゼロに戻って新しくされた世界

イエスの受難に接し、逃げ去った弟子たちは全てを失いました。希望、自負、誇り、勇気、信頼など何もかも失いました。しかし、復活のキリストは全くのゼロの状態になった弟子たちに現れます。全てを失い、失望し、涙し、怯えていた弟子たちに「平和があるように」と安らぎを与え、派遣の宣言をし、聖なる霊として新たな息吹(いのち)を吹きかけられます(ヨハネ二〇・十九―二三)。復活のキリストは何も無くなった弟子たちに聖なる霊を注ぎ、弟子たちとともに新しい世界を切り開かれました。

私たちはゼロに戻り、新しいのちを吹き込まれ、新しくされた世界に生きていることを思い起こす必要があります。礼拝での「平和の挨拶」は単にキリスト者同士の挨拶ではなく、お互いのうちにおける復活のキリストへの畏敬の念を込めた挨拶と理解されています。お互いのうちにキリストがおられ、神のいのちが宿っているのです。ひとりひとりが尊い神の器なので、他者と比べて一喜一憂する必要はないのです。お互いに与えられている「いのち」を尊び、大切に、フェアに接することを通して、教会は人に癒し、安らぎを与え、新しい活力を生み出すところとなります。そこで自分は尊い存在であることを発見し、その心が宣教へと繋がります。真の原動力となるのだと思います。イエスターの恵みが豊かに注がれますように心よりお祈りいたします。

明石聖マリア・マクダレン教会管理牧師
洲本眞光教会管理牧師

遠藤洋介新司祭誕生!!

二月十一日(木・祝日)午前
一〇時三〇分より、神戸聖ミ
カエル大聖堂において、小林
尚明教区主教の司式により、
テモテ遠藤洋介執事の司祭接
手式が行われました。

コロナ禍により関西三府県
に緊急事態宣言が出されている
最中でしたが、遠藤司祭の
四月からの東北教区出向が決
まっております、神戸教区で司祭
接手式を行って送り出したい
という思いが、教区主教をは
じめ当教区聖職・信徒すべて
の願いであったかと思えます。

手指消毒などの感染予防策
を徹底し、三密を避けるため
に参列者は神戸伝道区内に限
り、小林教区主教、遠藤新司
祭及び補式聖職九名を含めて
二十名余りの出席でした。

説教者の瀬山会治司祭は「司
祭は人々の人生の大事な場面
に祈りをもって寄り添い、励
ます働きを担うことになる。
時に辛いこともあるかも知れ

ないが、その使命は尊く喜び
に溢れている。その感謝の内
に謙虚に励んで欲しい」と述べ
られ、「神に寄り頼み、そのみ
言葉をたたえよう。恐れるこ
とはない、人はわたしに何も
できない(詩編五十六・四)」
との詩編の一節を贈られまし
た。



そして、遠藤洋介新司祭は
式後の挨拶で「奉仕職である
執事の上に司祭を着たこと
を忘れず、これから人々に

仕えていきたい」と語られま
した。

神戸教区そして聖公会に一
人の司祭が与えられたことを
共に喜び、新司祭の上に主の
豊かな恵みと祝福があります
ようお祈りしたいと思います。

(広報部)

「重ね着の神学 司祭職に召されて」

主の御名を賛美いたします。

この度、二月十一日に司祭
に接手していただきました、
遠藤洋介です。

これまで多くの方々にお祈
り、お支えいただきました。
この場をお借りしまして、心
から感謝いたします。ありが
とうございました。

私は八歳の時に父方祖母の
葬儀参列のために初めて教会
を訪れました。大好きな祖母
を失った悲しみでいっぱい
だった時、白くて大きくてキ
レイな教会、初めて会った私
や家族を温かく迎えてくだ
さった当時の牧師先生や信徒
の皆様の優しさ、そのおかげ

で悲しい気持ちも段々と和ら
いでいったことを今でもよく
覚えています。それが私が神
様と出会った日でした。その
翌年、家族で洗礼を受け、私
のクリスチャンとしての人生
がスタートしました。高校を
卒業後、社会人となり、教会
から足が遠のいた時期もあり
ました。しかし、自分の思い
を超えた神様のお導きによつ
て、再び教会に通わせていた
だくようになり、周りのの方の
勧めから、聖職の道を意識す
るようになりました。その後
は、神様が示される道を悩み
ながらも歩ませていただいた
ように思います。

聖職位は重ね着の神学と言
われていきます。司祭職は執事
職を脱ぐのではなく、執事職
の上に着させていただきま
す。私は一九九五年に受洗、
一九九八年に堅信、二〇一三
年にウイリアムス神学館に入
学し、二〇一五年に聖職候補
生となり、二〇一七年に執事
に接手されました。決して順
調な道程だったとは言えませ
んが、その一つ一つに、神様

との出会いを感じます。そし
て、その区切りを迎える度、
私自身もそれまでの信仰歴の
上にまた新たな神様との出会
いを着せていただいている
ように思います。

この度、司祭職に召された
ことで、さらに神様と人とに
仕えていくことを意識し、謙
遜で実直な姿勢を心がけて歩
んで参りたいと思います。そ
して、私が初めて教会を訪れ
た時に涙を拭っていただいた
ように、私自身も目の前の人
に寄り添い、神様の慰めを一
緒に求めていける、そんな温
かい牧会を心がけていきたい
と思います。これからもご加
祷をどうかよろしくお願い致
します。

最後に、皆様の上に神様の
豊かな祝福がありますように
お祈り申し上げます。

(司祭 遠藤洋介)



オーガスチンのまなざし



主教 小林 尚明

「遠藤洋介新司祭誕生」

二月十一日(木)日本聖公会組織成立記念日に神戸聖ミカエル大聖堂で、コロナウイルス感染に十分注意して司祭按手式が無事行われました。これで四月から、青森県にある八戸聖ルカ教会で三年間、東北教区と吉田雅人主教様をお手伝いすることができそうです。

司祭按手前のリトリートを一月二十六日から三泊四日、宝塚黙想の家で二人で行いました。聖書を読み、執事、司祭の務めを学びました。その間、遠藤先生がこんなことを語ってくれました。「柳本博人先生に感謝しているんです。最初は叱られて、どうしようかと思いましたが、教会の中で生活する者としての姿勢を教えていただきました」と。柳本先生の指導を私も横で見えていて、気の優しい私はハラハラもしましたが、信念のある指導が遠藤先生の心に触れて生きる姿勢を変えさせたものと思います。私

の目から見ても、遠藤先生はしつかり成長して、それでいて気負いのようなものがなくなり、信頼できる司祭に成長したと思います。「可愛い子には旅をさせろ」と言われます。遠藤新司祭が東北教区で様々な経験をしてより成長してくれることを期待しています。

「み国が来ますよつと」の祈り

昨年に続き、今年も昇天日(五月十三日)から聖霊降臨日(五月二十三日)までの十一日間の祈りに日本聖公会も参加します。先週、祈りのしおりの最終原稿などを管区事務所に送りました。今年、中部教区の西原廉太主教様が短時間に訳してくださりやつと二月の主教会に間に合い、実施が決まりました。

この運動は、祈るすべての人々が、イエス様との交わりを深め、五人の友人・知人をイエス様のもとに導くことを目的とします。今年の黙想の内容は、イエス様こそ私たちが従うべき道であること。そしてイエス様に従うとは、イエス様にならう生き方をすること。そしてそのことは私たちの力ではできないことであって、必然的に、聖霊降臨への待望へと導かれていきます。今年も楽しみます。

(神戸教区主教)

南海トラフ地震に備えて

南海トラフ地震が発生した際の津波浸水予想について、神戸教区内の各自治体のハザードマップを元にまとめました。左記の教会が津波浸水被害想定に含まれていました。

- 姫路顕栄教会 3m～5m、
- 福山諸聖徒教会 0・3m～2m、
- 広島復活教会 1m～2m、
- 高松聖ヤコブ教会 0・3m、
- 高知聖パウロ教会 1m～2m、
- 徳島インマヌエル教会 2m～3m、
- 徳島聖テモテ教会 1m～3m、
- 富岡キリスト教会 1m～3m、
- 鳴門聖パウロ教会 3m～4m。

これ以外の教会は津波浸水想定外です。ここに記載されていない教会の方々は「私の教会は大丈夫だ」と思いませんか。津波は大丈夫ですが、揺れが大きくなると、揺れによって建物への被害も想定されます。また交通機関を始めとしたライフラインも不安定になります。東日本大震災の時は、直接被害の無い地域もガソリンを始めとしてスーパーマーケットの品物も品薄になりました。

南海トラフ地震の初回の頃は、デマを発端としてトレットペーパーやティッシュペーパーが品薄になりました。またマスクやアルコール消毒液が品不足で手に入らなかったことも記憶に新しい出来事です。

私たちはコロナ禍になり礼拝に集えない体験をしました。今もまだ礼拝に集えない教会が多くあります。教会が機能しなくなると、思いのほか私たちの信仰生活に大きな意味があったことに気がつくかもしれません。そして、一日も早く元に戻りたいという気持ちが大きくなりました。教会の存在は、ある時は行くことにより心も体も疲れてしまい、行きたくなくなることもありま

す。またある時は、福音の言葉に触れて心が軽くなったこともあることでしよう。楽しい場所、楽しい時間として過ごすこともあると思います。教会が災害によって失われてしまふとなると、私たちは何を備えれば良いのでしょうか。

(社会部・執事 宮田裕三)

津波被害を受ける教会は流されてしまふから何も準備しなくても良いのでしょうか。条件次第では無傷で残ることも十分考えられます。その時に何も準備が無く、ただただ悲嘆に暮れる教会があるのでしようか。十分な備えがあれば近隣への奉仕をすぐに始められます。津波浸水の心配が無い教会は何もしなくて良いのでしょうか。被害を受けな

いですから十分の備えをしておくことにより被害に遭ってしまつた教会に支援が出来ます。まずはガソリン携行缶を三つくらいと保存食品、保存用飲料水を備蓄してみませんか。保存期限が近づいたら保存食品の味見を兼ねて食べて、新しい保存食品と入れ替えることを行えば、防災意識を持ち続ける機会となります。「隣人を自分のように愛しなさい」(マタイ二十二・三十九)教会共同体にとって、隣人とは誰のことでしょうか。隣人のことを思いながら備蓄の準備を整えておきたいものです。

鳩だより

《敬称略》

公 示

救主降生

二〇二一年二月十五日

日本聖公会神戸教区

主教 オーガスチン 小林 尚明

下記のように人事異動を発令
します。

二〇二一年三月三十一日付
神戸聖ミカエル教会副牧師の
任を解く

二〇二一年四月一日付け

東北教区へ出向を命ずる。

(二〇二四年三月三十一日まで)

司祭 トマス 河村 博之

二〇二二年四月一日付

主教座聖堂付を命ずる。

司祭 テモテ 遠藤 洋介

二〇二二年二月十日付

神戸聖ミカエル教会牧師補の

命を解く。

二〇二一年二月十一日付

神戸聖ミカエル教会副牧師に
を命ずる。

司祭 バルナバ 瀬山 会治
神戸松蔭女子学院大学チャプ
レンとして派遣する

二〇二二年四月一日

二〇二二年三月三十一日

司祭 ヨシユア 長田 吉史
神戸松蔭女子学院大学チャプ
レンとして派遣する

二〇二二年四月一日

二〇二二年三月三十一日

いながらの生活です。
医療費については、労災に
よる支給が、先日確定しまし
たので、ひと安心です。

成年後見人について、家庭
裁判所に申請中ですので、医
療費以外の寝間着等の諸費に
ついては、マイラさん個人の
口座からの支払いが可能にな
るまで、募金から立て替え払
いをさせていただきます。

叔母さんのエレナさんは二
月十六日に帰国されました
が、妹のレアさんは滞在ビザ
の延長が認められましたので、
彼女が五月までは滞在さ
れ、後見人と共に、今後の医
療計画を立てていく予定で
す。

マイラ・ エステバン姉 支援室より

皆様には、マイラさんとご
家族のことを、常にお祈りに
覚えていただき、本当にあり
がとうございます。

現在マイラ姉は、高松市内
の療養病棟で、静養中です。

ご家族や看護師さんのお話
によると、薄目を開けられる
回数が転院当初より増えてき
たそうです。ただし、意思の
疎通ができるようになるかに
ついては、非常に難しいとい
う診断がなされています。

寝たきりのため、常に誤嚥
性肺炎や血栓症のリスクと闘

帰国に向けての準備もフィ
リピン領事館が始められまし
た。しかし、運賃の問題もさ
ることながら、コロナ禍や航
空機利用による気圧の変化
が、安全な転院の重い課題に
なっており、なかなか前に進みま
せん。支援室も女性室員の増
員を行い、出来る限りの支援
を継続しようと思惟ますので、
今後もご加勢いただけれ
ば、幸いです。

(支援室・司祭 上原信幸)

5月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2021年5月6日(木) 午前10:30

場所 神戸聖ミカエル大聖堂

司式 主教 小林 尚明

説教 司祭 八代 智

* 5月の記念逝去教役者

2日	司祭		前政	蔵
5日	宣教師	ヴァイオレット	ヘッ	ド
6日	司祭		吉本	要太
9日	司祭	ケン	ピー	ターズ
10日	司祭	フランク	ウエ	ストン
14日	伝道師	マリヤ	松山	初子
16日	司祭	パウロ	韓	浩一
19日	主教	パウロ	八代	欽孝
21日	司祭	ミカエル	津留	四郎
22日	司祭	ペテロ	長澤	豊吉
24日	司祭	ヨハネ	村大	塚好
24日	司祭	パウロ	末好	萬雄
26日	司祭		阪村	達千
27日	司祭	バルナバ	與賀	田秋
28日	司祭	バルナバ	ハッチ	ンソン
29日	司祭	アーネスト	バー	グス
30日	宣教師	メイブル		

教 籍 移 動

十二月十三日(日)

ダビデ 八木 倫 洋

東京教区阿佐ヶ谷

聖ペテロ教会より

松江基督教会へ

二〇二二年二月十日付

神戸聖ミカエル教会牧師補の

命を解く。

二〇二一年二月十一日付

神戸聖ミカエル教会副牧師に
を命ずる。

司祭 オーガスチン 輿賀田 光嗣

二〇二二年四月一日付

神戸聖ミカエル教会主日勤務

を命ずる。